

廃棄体検討 WG の実施状況について

日本原子力研究開発機構
バックエンド研究開発部門
埋設事業センター

平成 29 年度に実施した廃棄体検討 WG 会合の開催状況は以下のとおり

第 9 回 WG 会合

- ① 日時：平成 29 年 5 月 31 日 15:00～17:00
- ② 場所：JAEA 東京事務所
- ③ 議事と概要

1) 研究施設等廃棄物に関する規制制度整備について

RI 協会、JAEA は、原子力規制庁から、4 月に改正された RI 法の「廃棄に係る特例」に関し、原子炉等規制法に処分を委託する RI 廃棄物の性状や核種、放射能濃度に関するヒアリングを受けた。そのヒアリング時の情報の共有と今後実施が想定される規制庁 L1 検討会での対応方針について議論した。その結果を受けて、第 26 回 L1 検討会（平成 29 年 10 月 3 日）で説明を行った。

第 10 回 WG 会合

- ① 日時：平成 30 年 1 月 30 日 10:00～12:00
- ② 場所：JAEA 東京事務所
- ③ 議事と概要

1) 研究施設等廃棄物の廃棄体製作の検討状況について

RI 協会から、今後検討が必要な大型の金属廃棄物や水砕スラグなどの廃棄物について説明があった。また、JAEA から平成 30 年度までの廃棄体受入基準の整備状況について説明し、今後の廃棄体作製に関する対応方針について議論した。（資料 16-4-1、資料 16-4-2、資料 16-4-3）

2) 放射能評価手法の検討状況について

RANDEC から、トリウムを利用した事業者が現状では保管管理していることの多いトリウム廃棄物について、その共通的な放射能評価手法の検討状況について紹介があった。（資料 16-4-4）

以 上